



目次	
会長あいさつ	1
退職校長会総会報告	1
事業報告	2
役員名簿	2
全連退総会報告	2
生き生きライフ	2・3・4
現職校長会情報	4
題字	19年度入会 杉浦光子 (元 安城・桜町小)
絵	22年度入会 中川克夫 (元 新城・東郷中)

会長あいさつ



自分のエベレスト

会長

安藤 公明

昨年度末の総会で、引き続き会長を仰せつかりました。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

五月下旬に、三浦雄一郎さんが八十歳でエベレスト登頂という快挙の朗報に接しました。史上最高齢登頂という記録にも驚きですが、専門のスキーや登山に飽くなき情熱を持ち続け、体力・気力維持のための相当な努力を想像しますと、多くの方が感動されたことと思います。

そして、その日の社説の「あなたのエベレストは」の文字を見た時に「はっ」とさせられました。

世界の三浦さんと関連づけでは甚だ失礼かと思いますが、現職を退いてからの日々を何

気なく過ごしてきた自分の背中を突かれる思いがしました。自分の身丈に合ったもので、生きがいや目標を持たなくてはと。

そうした意味で、回数こそ少なく残念ですが、本会会報に寄稿くださる会員の方の「生き生きライフ」には、退職後も充実した日々を過ごされてみえる方が何え、勇気付けられる思いがしていますし、会員同士の情報交換の場があればと感じています。

また、全国退職校長会や昨年愛知で開催しました東海北陸の協議会でも学校支援や教育貢献が常に話題になります。私が、私どもが経験してきた分野での恩返しもできればと願っている次第です。すでに、多くの会員の方がそうした面で力を発揮していただいております。ありがたいと思っております。いずれにしても、退職後の日々が健康で生きがいの持てるものであるためには努力と精進が必要かと思いますが、趣味や特技、教育支援、地域貢献など、いろいろな活動の中で、一人ひとりの会員の方が、「自分のエベレスト」を目指して明るくお過ごしください。ようお祈りいたします。

平成二十五年度 県退職校長会 総会報告

本年度の総会は、三月十二日(火)に名古屋ガーデンパレスにて、開催されました。

総会の冒頭挨拶で、安藤会長からは、昨年は支部と地域の連携について、支部長・副支部長を交えて協議した結果、県は全連退の窓口として、七年会員を中心にこれまで通り活動し、会のさらなる発展に努めていくことにしたとの話がありました。また、七年に一度愛知の地で開催される東海北陸地区協議会も、大成功のうちに終えることができたとの報告がありました。

その後、正副会長・理事・支部長等の皆様によって、議事の審議がなされ、次の議案が全て承認されました。

第一号議案

平成二十四年度事業報告

第二号議案

平成二十四年度会計決算報告・会計監査報告

第三号議案

平成二十五年度事業計画

第四号議案

平成二十五年度予算

第五号議案

平成二十五年度役員承認

役員は、平成二十四年度に引き続き安藤公明会長、中川正明副会長、名倉治男副会長が再任されました。また、夏目忠士氏と加賀昭一氏、小坂愛祐氏が、新副会長として選任されました。各役員の皆様は、別掲の愛知県退職校長会役員名簿のように決まりました。

退任は、これまで本会の発展にご尽力いただきました、原田茂男副会長、高木久嗣副会長、山田政宏副会長始め、十名の皆様でした。これまで本会の発展・充実のためにご努力いただいたことに、厚くお礼申し上げます。



年度 地域	19	20	21	22	23	24	25	計
三 河	98	110	101	98	86	111	85	689
尾 張	72	68	98	92	76	89	84	579
名古屋	66	83	69	68	66	68	66	486
合 計	236	261	268	258	228	268	235	1,754

監事	(三河)	岩月 慎自
	(尾張)	伊藤 昭三
	(名古屋)	高須由紀夫
副支部長	(三河)	鈴木 雅人
		杉浦 宏幸
	(尾張)	新海 弘康
		山田 淳夫
	(名古屋)	松本 朋充
		本田 修三
組織活性化委員	(三河)	杉浦 宏幸
	(尾張)	岡田 康夫
	(名古屋)	小田原晴夫

平成二十五年第四十九回
全国連合退職校長会総会が、
六月六日（木）、東京両国の「江
戸東京博物館」で開催された。
本県からは、安藤公明会長、
加賀昭一・小坂愛祐副会長と
私の四名が参加した。（安藤・
加賀両氏は、前日の理事会に
も出席）

第49回 全国連合退職校長会総会

全連退本部としての財政面で
の努力目標を発表された。
続いて、文科省初等教育局
視学官の杉田洋氏、全連小会
長の堀竹充氏から祝辞をいた
だいた。
議事としては、事業・決算
の報告、事業・予算（案）の
提案の他、会則の一部改正、
役員改選の提案があり、いず
れも原案どおり可決された。
その中で、本県に加賀昭一副
会長の監事就任が決まった。
午後は、教育評論家で元国
立市教育長・石井昌浩氏によ
る「教育問題の焦点は何か」
と題する記念講演があった。
石井氏は講演の中で、「道德教
育の充実と教育委員会の活性
化が実現すれば、日本が今抱
えている教育の課題のかなり
の部分は解決する」との持論
を述べられた。

21年度入会 杉浦 渉
(元 刈谷・富士松南小)

三年前から「温泉ドラえもん」というブログを始めました。内容は、趣味の秘湯巡りと野鳥・昆虫を中心とした生態です。生物の生態を撮ろうとすると、野山を三〜四時間ほど歩き回るのが常です。最近、とみに体型が気になってきた私にとって、適度な運動になっています。

たかが日記とはいえ、多くの人の目に触れるため（現在九六万七千クリック）、事前の資料調査と原稿の推敲に数時間費やします。これは、痴呆症予防になっています。

さらに、「水鳥のカワウは、なぜ羽を乾かす必要があるのか」などの疑問や自分の目で確かめたいことが次々に出てきます。念願の写真が撮れたときは、思わずガッツポーズです。今回載せた写真は「命がけの恋 ササグモの求愛行動」です。

また、現在桜花学園大学で理科教育法を教えています。自分の写真を教材として提示

できるのも一石多鳥の一つです。



夢の実現

19年度入会 加藤 學

(元 日進・日進中)

二十歳後半、旅先の京都で「水琴窟」の澄んだ「ピーン」の音色に魅せられた。

その時に抱いたのが「何時かは自分の庭にも作ってみたい」という夢である。

わずかな時間で製作できるのに、現役中に実現させることができなかったのは怠慢と余裕がなかったからだろう。

今年に入って、待ちに待った息子の結婚を済ませた安堵感もあり、庭の隅に転がっている素焼きの甕にドリルで穴を空け、夢の実現に着手した。直径約一メートルの大物だけに、割れないよう細いドリルで小さい穴を空け、徐々に大きくした。まず穴空け成功で一息つく。早速大皿に水を張

り、ひっくり返した甕を被せた。穴の真下に皿を置き、木切れで持ち上げ準備完了。穴から水を注ぐと音が聞こえた。期待は裏切られ、あまだれの音、しかも連続音。穴を小さくしてみようと、木ネジを差し込み一部を塞いでみた。水が染みていくだけで音がしない。瓦屋根の雨は一気に流れるのに、茅葺きの雨水はポタリ・ポタリ。幼少期の記憶が役に立った。割り箸を金槌で叩き、水を吸い込むように改良し、大成功。「キーン・キーン」の澄んだ音色に感動。長年の夢は実現。

今後夢を持ち続けたい。

セカンドライフの楽しみ

23年度入会 佐藤 秀明

(元 名古屋・大須小)

若いころから車が大好きで、今も時々ドライブに出かけますが、以前からずっと心の中に秘めた思いがありました。

それは、自動二輪の免許を取ってバイクに乗ることです。現職の頃は、なかなか自動車学校に通う余裕もなく、思いを実現することなく退職を迎えてしまいました。

そんな中、幸運にも再就職先の勤務は七月からで、三か

月間もの自由時間を得ることができたのです。この時間を活用して二つのことができました。まず一つは海外勤務で大変お世話になったミュンヘン日本人学校を訪問したことです。そして二つ目が、何とない切って自動車学校入校の申込みに出掛けたのです。しかし、何といってもこの歳ですから、久しぶりに不安と緊張の毎日でした。周りには若い学生がほとんどで、女性も多くいました。「若者に負けるもんか」と悪戦苦闘をしながら、何とか卒業検定に合格することができたのです。中型と大型の免許取得と同時にバイクも購入し、今はツーリングを楽しんでいます。



丹後半島をツーリング

気ままを楽しむ

24年度入会 中垣 明

(元 豊田・若林東小)

退職し新しい生活が始まり

ました。両肩の心地よい軽やかさの一方、空虚感も湧いてきました。組織人間だったのだなあと思いました。自由を持て余す部分もあったのです。

そこで、邪魔な左脳にはしばらく休んでもらい、右脳が感性で受け止め、そこから湧き上がってくるものに従ってみようと思いました。

タイゲな時はそのままごろごろ過ごします。するとそのうち風に吹かれたくなつてきて夕暮れの丘を歩き回る自分がいました。ザックを背負ってひと気のない山を歩くこともあります。

ジムで体を動かすことも単純に楽しいものです。殊にヨガ教室で深い呼吸に身を任せてストレッチする感覚は格別です。また、楽器音痴がその音色に誘われて手にした尺八。吹けども音にはなりません。そんな時、不意にヨガの呼吸と尺八の筒が合致して風の音が響きました。新境地でした。

一方、第二の職場、「とよた科学体験館」は大事な生活のベースです。サイエンスショーに歓声をあげてくれる子どもたちとの時間は格別です。

そんな子どもたちとの出会いに導いてくれた教員人生、

そして今、「高等遊民」がごとき贅沢をいただいている世の中に感謝しての生活です。

私の新たなチャレンジ

25年度入会 山田 淳夫
(元 常滑・鬼崎中)

職場の電話がひっきりなしに鳴り、通話中に携帯も鳴る日々が嘘のように、目の前の固定電話も携帯も鳴らない日常が当たり前になってきた。そして、ずつしりと重かった肩がすいぶんと楽になった。

私は、四月一日から母校の教職大学院に勤務して、新たなチャレンジを始めている。

教職大学院には、四年間の学部を終えて入学してくる学生と、現場に勤務しながら入学してくる学生がいる。そして、「授業づくり」「学級づくり」「学校づくり」の三つの履修コースを選択して学ぶこととなり、私は、「学校づくり」を担当している。

三つのコース名からも分かるように、「学校づくり」は現場でのミドルリーダーを育成するコースである。二年間大学と勤務校の両方に籍を置いて、最終的には成果を論文にまとめる。考えてみればかなりきつい履修条件ではある

が、実際に理論に基づいて学校組織を手直しし、検証することはこうした機会でない現実には難しい。

現在の学校現場には実に多くの課題があるが、現場を牽引できるミドルリーダーの育成が何にもまして重要である。新たな立場の重要性を認識し、自己を研鑽しつつ、課題にチャレンジしていきたい。

先人の営みを訪ねて

25年度入会 山内 雅夫
(元 名古屋・川原小)

四月に新しい職場(愛教大の教職大学院)に移り、多くのことを学習しなければならぬが、時間的なゆとりはできた。仕事で学校現場に出かけることが多い。明るい子どもたちの声を耳にするとこちらの気持ちも若くなり、何かをしようかと元気が出てくる。

自分は、様々な自然条件を克服して、先人が生活を続けてきた有様を想像することが好きで、地理学を選んだ。今でも、棚田を眺めたり、城跡から周囲の地形を見下ろしたりすると、先人の工夫や努力などの営みに頭が下がる。

これから時間をやりくりして、何かテーマを決めて、

フィールドワークに出かけたい。手始めに、各地の一ノ宮を訪ねてみようかと考えている。社会的な制約が少なかったであろう古代に、どうしてここを、そのクニの一ノ宮と定めたのか、興味は尽きない。文献研究よりも、現地での探求に勝るものはない。



丹波国一宮 出雲神社(京都府亀岡市)

現職校長会情報

平成二十五年度総会が、五月十四日(火)に日本特殊陶業市民会館にて開催され、次の活動方針が採択されました。

①学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実施・

評価・改善

②確かな学力・豊かな心・健康な体の調和を重視する教育の推進

③学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域社会・関係

機関等とのつながり・協働の強化

④確固たる経営方針に基づく学校経営の礎となる教育諸条件の整備・充実

平成二十五年度

愛知県小中学校長会

役員・理事一覧(敬称略)

●会長

岡崎 岡田 豊(井田小)

●副会長(五名)

一宮 木村 博彦(青西小)

西 寺崎 敏博(菊井中)

熱田 長坂 和哉(白鳥小)

岡崎 鈴木 栄二(矢作北中)

春日井 森 乙平(中部中)

●監査(三名)

みよし 今瀬 良江(黒笹小)

岩倉 野木 廣(岩倉中)

北 野澤 和彦(大曾根中)

●庶務理事(六名)

刈谷 金原 宏(刈谷南中)

新城 伊藤 雅朗(新城小)

東海 加藤 千博(加木屋小)

海部 今井 雅良(蟹江中)

瑞穂 小神 一夫(汐路小)

東 関口 大介(富士中)

●会計理事(六名)

豊田 酒井 敬(豊南中)

豊田 坂部 良二(足助小)

一宮 日比 幸(西成小)

日進 久保田 力(日進西中)

東 鈴木 篤葵(小)

中 稲熊 和己(前津中)

⑤安全・安心な教育環境づくりの推進と防災教育の充実
⑥校長の一層の研鑽と教職員の資質・能力の向上を図る研修の充実

●専門委員・部会理事(十二名)

法制 三竹 清一(福江小)

教育条件 石井 尚(豊田小)

学校経営 吉川 範行(有松小)

進路 内田 幹男(内海中)

保健体育 林 直司(稲沢西小)

福祉安全 日比野 博(味美小)

給食 鈴木 敏彦(豊南中)

生徒指導 河野 恒広(名古屋小)

特別支援 加納 勝彦(朝日丘中)

広報 杉浦 徹(東郷西小)

修学旅行 片山 義文(乙川中)

教育課題 佐々 有三(江南西中)



事務局だより

執筆していただいた皆様には、短期間にもかかわらずご理解・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

これまで各号で計報を載せ、ご逝去された皆様のご冥福をお祈りしてきましたが、今回は、昨年の十二月二十日から本年の六月三十日までの間に、亡くなられたとの連絡はありませんでした。皆様お元気で何よりのことと喜んでおります。

事務局は、七月一日より、前事務局長の藤澤修一が退任し、新次長として前七宝中学校長水谷朋和が着任いたしました。これからは、事務局一同さわやかで誠意ある対応を心がけてまいります。近くにお越しの際は、気軽にお立ち寄りください。

- 事務局長 林 正美
- 事務局次長 浅野 隆義
- 事務局次長 水谷 朋和
- 事務局員 加藤美津代

愛知県退職校長会事務局
名古屋市中区新栄二丁目
四九番一〇号
愛知県教育会館六階
愛知県小中学校長会事務局内
電話 〇五二-二六-一八五二
FAX 〇五二-二六-一八〇七
E-mail ai-kocho@axel.ocn.ne.jp